

## 令和 2 年度（2020 年度）事業計画書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

### 1 事業実施の方針

過去 3 年間を振り返ると、2017 年度は就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」の開所と開所に向けた準備。2018 年度は、みやぎ障害者 IT サポートセンターの受託。2019 年度は、みやぎ障害者 IT サポートセンターでのパソコンボランティア関連事業への挑戦があり、3 年間連続で新しい取り組みが発生していた。

本年度は、新しい取り組みの中で見えてきた課題を解決し、より着実なものにするための年度として本年を位置づけ、将来の飛躍のための 1 年にしていきたい。

#### 【2020 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業の枠組み】

事業名	事業内容	事業名・活動内容
1. IT 支援事業	1. IT 講習 (1. 仙台市バーチャル, 2. 宮城県) 2. IT サポート事業 (1. 仙台市重コミュ, 2. 宮城県) 3. パソコンボランティア業務 (宮城県)	障害者バーチャル工房事業 重度障害者コミュニケーション支援センター事業 障害者 IT サポートセンター事業
	4. IT 支援関連事業	1. 収入獲得支援 (依頼対応) 2. 意思伝達装置等の機器販売及びサポート
2. 福祉支援事業	1. 自助・自立のための支援事業	協議のみ
	2. 福祉支援関連事業	福祉名刺 卓上カレンダー販売
3. 各種委託事業	1. 東北福祉大学 ICT コーディネータ育成事務局委託	事務局運営委託
	2. ホームページ更新委託	ホームページ更新作業委託
	3. 伝の心カスタマーセンター業務委託	伝の心カスタマーセンター業務 レンタル品の検品業務
4. 資格認証事業	1. 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	申請に対する審査・資格認証
5. 障害福祉サービス	1. 障害者就労継続支援 B 型事業所	生産活動機会の提供 就労に必要な知識や能力の訓練
6. その他助成事業	1. ソフトバンク・ソーシャルチャレンジ	研究開発や成果発表

### 1. IT 支援事業

前年度に引き続き、仙台市委託分でのバーチャル工房事業 (IT 講習 1. 1. 1.) と重度障害者コミュニケーション支援センター (IT サポート 1. 2. 1.)、宮城県委託分となる「みやぎ障害者 IT サポートセンター (IT 講習 1. 1. 2. ・IT サポート 1. 2. 2. ・パソコンボランティア 1. 3.)」の事業を通じて、定款に定めている IT 支援事業 (IT 講習, IT サポート, パソコンボランティア) に取り組んでいく。

#### 1. 1. IT 講習事業

##### 1. 1. 1. 仙台市障害者バーチャル工房事業

仙台市障害者バーチャル工房事業では、前年度からの「個人事業主を目指す」という方針を継続させ、専門的な講習に取り組んでいく。講習内容として、HTML 講座、二つの画像編集講座、動画編集講座、3DCAD に関する入門と応用講座、デザイン概論講座、ワークフロー講座の計 8 講座を計画している。

また、前述の講座の開催ほか、バーチャル工房としての活動として福祉センター等に集まっての自主的な勉強会を開催していく。

##### 1. 1. 2. みやぎ障害者 IT サポートセンター

集合研修である「IT 講習」、集合研修に参加が困難な方向けの「訪問講習」、IT 講習から次のステップを目指す「スキルアップ講習」の 3 種に取り組む。

## 1. 2. ITサポート事業

### 1. 2. 1. 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター

2020年度、本事業の管轄である仙台障害者総合支援センターとの話題として、難病サポートセンターとの連携や子どもへの支援に関する検討が挙げられている。特に、在宅に訪問しての技術支援という特性により、家族等からの様々な相談を受ける機会が多くなっている。この点について、難病サポートセンターと連携を図りながら取り組んでいく事を模索していきたい。同様に子どもへの支援についても、引き続き関係機関と検討を深めていきたい。

### 1. 2. 2. みやぎ障害者 IT サポートセンター

前年度の半期を節目に移転した新しい運営拠点にて、宮城県全域を対象に、訪問・電話・FAX・メール・来所対応等により、障害のある方のパソコン等のIT機器の利用支援を実施する。障害のある方のパソコン等のIT機器の利用支援については、本NPO法人の得意とする分野であり、これまでの経験や重度障害者コミュニケーション支援センター事業と協力体制を築き取り組んでいく。

### 1. 3. 「パソコンボランティア業務」

前年度に引き続き、みやぎ障害者ITサポートセンター事業の一環として、「養成業務」の実施と「派遣業務」からなるパソコンボランティア養成等業務に取り組んでいく。

#### 養成業務

本年度は、県民を対象にしたパソコンボランティア養成講座を宮城県障がい者福祉協会との連携により取り組んでいく。

実施の方法として、前年度、試験的に取り入れた受講する方が日程を選べるような選択方式を継続させる。また講座のテーマも、e-スポーツやAIスピーカーなどを取り入れるなど新しい技術に対し積極的に取り組んでいきたい。

#### 派遣業務

パソコンボランティア登録者の活動を支援するための事業である派遣事業を継続する。引き続き、活動を必要としている当事者とのコーディネート。ボランティア保険への加入。活動に要する費用などを支給するなどの業務を担っていく。

## 1. 4. IT支援関連事業

### 1. 4. 1. 収入獲得支援事業

収入獲得支援事業については、就労継続支援B型事業所への参加により利用者負担が発生するなど、不利益が発生する障害者に対し、該当者が得意とする「キーガード製作」を中心に取り組む。

これまで取り組んできた横断幕等の「印刷関連」、「データ入力」については、積極的に就労継続支援B型での生産活動機会の提供や就労に必要な知識や能力等の訓練事項として取り組んでいく。

### 1. 4. 2. 援機器導入支援

「支援機器導入支援（重度障害者用意思伝達装置等の販売事業とアフターフォロー）」について、こ

れまで通り継続させる。

特に、前年度下半期に復活させた仙台市内での事業展開や上肢装具の取り扱いを行う。

## 2. 福祉支援事業

「自助自立のための支援事業」と「福祉支援関連事業」からなる福祉支援事業に取り組む。

### 2. 1. 自助自立のための支援事業

自助自立のための支援事業は、協議のみとする。

### 2. 2. 福祉支援関連事業

福祉支援関連事業では、引き続き福祉名刺・卓上カレンダーの障害者作品の販売を継続すると共に、販路拡大を図っていく。

## 3. 各種委託事業

各種委託事業では、次の1～3について実施する。

### 3. 1. 重度障害者 ICT コーディネータ育成事業事務局業務委託

東北福祉大学が実施する重度障害者 ICT コーディネータ育成事業の事務局業務を通じ、人材育成の後方支援を行う。

### 3. 2. ホームページ更新委託

就労継続支援 B 型事業所での取り組みの他、仙台市の委託事業であるバーチャル工房事業においても、本年度よりバーチャル工房としての活動を開始する。二つの就労支援事業と連動させながらホームページ制作や更新作業に関する委託業務を継続させる。

### 3. 3. 「伝の心」カスタマーセンター業務委託

「伝の心」カスタマーセンター業務を継続させる。取り組む業務として、従来の電話対応の他に、意思伝達装置のレンタル事業の検品・整備を実施する。

また、パシフィックサプライ株式会社との協働により、新製品の活用方法を模索していく計画も出ており、重度障害者コミュニケーション支援センター職員と連携を図りながら開拓していきたい。

## 4. 資格認証事業

今年度、新たに教育課程を修了した申請者に対し資格認証を実施する。

## 5. 障害福祉サービス

平成 29 年度に取り組み始めた、障害者総合福祉法に基づく就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」（1 日利用定員 20 名）を引き続き運営していく。

工賃の発生する作業として、「ホームページ制作や更新作業」「カッティングシート加工」「文字・音声データ入力」「3D モデル作成・出力」「動画のデジタル化」「アンケート集計作業」「大判印刷」「写真撮影」「パンフレット立て作成」「機器販売事業書類等作成作業」「封筒への封入作業」「画像加工」「動画編集」を提供し、提供できる作業量も増やしていく。また、利用者の作品をホームページ等を使って広く公開し、利用者の就労や新規受注先獲得に働きかける。新たな生産作業の開拓にも取り組み、作業量の底上げを試みていく。

さらに、知識・技能を高める訓練として、書類作成、画像加工、動画編集、HTML5&CSS3 を用いたホームページ作成、3D モデル作成から 3D プリンタへの出力、カッティングプロッターを活用したホップ

アップカードの作成といった各プログラムに加えて、スケジュール管理、就労パスポートの作成、面談練習、ビジネスメール練習などの就職を見据えたプログラムも提供していく。

また、さらなる利用者の確保にあたっては、非常勤スタッフ（生活支援員）を1名増やし、利用者の受入可能人数を増強した。これにより一時的に控えていた営業活動も状況を見ながら再開する。作業室のキャパシティの問題から、通所利用者は1日に10名程度の参加が限界であることも踏まえて、主に在宅利用者に向けて募集をかけていく。また現在登録している利用者の安定した利用を支援し、利用曜日増による延べ利用者数の増加を目指す。

開所から3年目の今春、新型コロナウイルスに対する感染の恐怖から利用を見合わせる利用者が出るなど大きな影響が出ているが、在宅サービスの提供を主軸に難局に対していく。利用者の就労継続支援A型事業所や就労移行支援事業所、就労への移行について、各種評価ツールや外部機関とも連携をはかり取り組んでいく。

今年度中に1日平均利用者数12人、平均月額工賃5,000円以上を目指す。

## 6. その他 助成事業等

### ソフトバンク・ソーシャルチャレンジ

ALS患者が従来の重度障害者用意思伝達装置からPepperを自由に動かし、ベッド上にながら、リビング等の別室の家族とコミュニケーションが図れることを目標に取り組んできた研究が、昨年度ソフトバンクに評価され、1年間の契約期間延長となった。

これまでの3年という研究期間を経て、システムのプロトタイプ版は完成した。今年度は、論文執筆による成果報告を行い、新聞等のメディアによる情報発信を計画している。また、この1年間を活用して、Pepperの在宅での長期利用を軸に新しいテーマで取り組む予定である。

以上の事業以外として、本法人の理事や会員の協力を得ながら新規会員拡大を本格的に推進してゆきたい。更に、各種助成金・補助金獲得の努力を続け、財政基盤強化を図ると共に、環境整備や各種事業の展開能力拡大を図ってゆく。

# 令和2年度（2020年度）事業計画書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数	支 出 見込額 (千円)
<b>1. IT支援事業</b>						
1. IT講習事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT講習 (ハブチャル) HTML 画像編集1 画像編集2 動画編集 3DCAD入門 3DCAD応用 ビジネスメール ワークフロー</li> <li>(ITサポートセンター) IT講習 訪問講座 スキルアップ 研修</li> </ul>	4/1-3/31 (別途, 日程 計画による)	宮城県障害者 福祉センター等	2名	障害者 30人	9,757
2. ITサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITサポート (重コミュ)</li> <li>(ITサポートセンター)</li> </ul>		仙台市内	5人	重度障害者 80人程度	
3. パソコンボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンボラ 養成講座 派遣事業</li> </ul>		宮城県域	3人	障害者 延べ550人程度	
4. IT支援関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援機器導入 支援 I型</li> <li>・収入獲得支援 キーボード製作 I型</li> </ul>	4/1-3/31 (随時)	・SAN事務局及 び障害者宅	2人	・ALS等患者 20人程度	
				3人	・障害者 10人程度	
<b>2. 福祉支援事業</b>						
1. 自助・自立のた めの支援事業	協議のみ					

2. 福祉支援関連事業	障害者作品販売事業 ・福祉名刺 ・卓上カレンダー	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	2人	・市民延160人 ・障害者1人	400
<b>3. 各種委託事業</b>						
・業務委託	1. 東北福祉大学 (ICT育成)  2. HP更新委託 I型  3. ハシフィックアップライ株式会社 (伝の心コールセンター業務) I型	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局   ハシフィックアップライ株式会社仙台営業所	3人  3人  3人	・学生8人  障害者3人  障害者延べ300人	355
<b>4. 資格認証事業</b>						
・重度障害者ICT支援コーディネータの資格認証	・申請への審査 ・資格認証	4/1-3/31 上半期及び 下半期の 計2回認証	SAN事務局	3人	・学生4人	2
<b>5. 障害福祉サービス</b>						
・就労継続支援B型	・生産活動の機会提供 ・就労に必要な知識や技能の訓練	4/1-3/31	就労継続支援B型事業所内	4人	障害者 20人程度	2,180
<b>6. その他</b>						
・助成事業	ソフトバンクソーシャルチャレンジ	4/1-3/31		1人		

## 2020年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
<b>I 収入の部</b>			
<b>1 会費収入</b>			
個人正会員会費収入	150,000		
団体正会員会費収入	200,000		
個人賛助会員会費収入	30,000		
団体賛助会員会費収入	100,000		480,000
<b>2 事業収入</b>			
①IT支援事業収入			
・IT講習・サポート事業収入	41,447,000		
<バーチャル工房事業>		1,226,000	
<重度コミュニケーション支援事業>		24,672,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		15,549,000	
・IT支援関連事業収入 I型	3,500,000		
<支援機器導入支援>		3,000,000	
<収入獲得支援>		500,000	
②福祉支援事業収入	450,000		
・自助・自立のための支援事業収入		0	
・福祉支援関連事業収入		450,000	
③各種委託事業収入	3,600,000		
・ICT事務委託		100,000	
・ホームページ更新委託 I型		1,000,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I型		2,500,000	
④資格認証事業収入	9,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	18,924,960		
<訓練等給付費収入>		16,824,960	
<就労支援事業費収入>		2,100,000	67,930,960
<b>3 助成金・補助金収入</b>			
	0		0
<b>4 寄附金収入</b>			
	0		0
<b>5 雑収入</b>			
預金利子	1,000		1,000
<b>6 その他</b>			
	0		0
<b>当期収入合計(A)</b>			68,411,960
<b>前期繰越収支差額</b>			528,597
<b>収入合計(B)</b>			68,940,557

<b>II 支出の部</b>			
<b>1 事業費</b>			
①IT支援事業支出			
・IT講習・サポート事業支出	9,757,000		
<バーチャル工房事業>		576,000	
<重度コミュニケーション支援事業>		4,432,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		4,749,000	
・IT支援関連事業支出 I型	2,100,000		
<支援機器導入支援>		2,000,000	
<収入獲得支援>		100,000	
②福祉支援事業支出	400,000		
・自助・自立のための支援事業支出		0	
・福祉支援関連事業支出		400,000	
③各種委託事業支出	355,000		
・ICT事務委託		5,000	
・ホームページ更新委託 I型		300,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I型		50,000	
④資格認証事業支出	2,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	2,180,900		14,794,900
<b>2 管理費</b>			
人件費	45,800,000		
・・・人件費:事務局		1,000,000	
・・・人件費:バーチャル工房		650,000	
・・・人件費:コミュ支援		20,240,000	
・・・人件費:サポセン		10,800,000	
・・・人件費:ICT		50,000	
・・・人件費:カスタマーセンター I型		1,500,000	
・・・人件費:就労継続支援B型		11,560,000	45,800,000
事務局家賃	0		
通信費	50,000		
消耗品費	50,000		
備品費	30,000		
旅費・交通費	200,000		
印刷費	10,000		
理事会運営費	2,000		
総会運営費	2,000		
公租公課	2,000,000		
講習会等	5,000		
交際費(慶弔費)	20,000		
宣伝・広告費	30,000		
支払手数料	5,000		2,404,000
<b>3 雑損失</b>			
	0		0
<b>4 予備費</b>			
	20,000		20,000
<b>5 その他</b>			
一時借入金	5,000,000		5,000,000
<b>当期支出合計(C)</b>			68,018,900
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>			393,060
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>			921,657



## 2020年度 就労継続支援B型事業 会計収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
<b>I 収入の部</b>			
<b>1 訓練等給付費収入</b>	<b>16,824,960</b>		
平均利用者数:12名			
利用日数:20日			
作業時間:4時間			
訓練等給付金:5,842円(1日当たり換算)			
			16,824,960
<b>2 就労支援事業費収入</b>			
<b>①IT支援事業収入</b>			
・IT支援関連事業収入 II型	<b>1,100,000</b>		
<支援機器導入支援>		100,000	
<その他(印刷関連、データ入力等)>		1,000,000	
<b>②各種委託事業収入</b>	<b>1,000,000</b>		
・ホームページ更新委託 II型		1,000,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 II型		0	
<b>③その他</b>	<b>0</b>		
			2,100,000
<b>当期収入合計(A)</b>			<b>18,924,960</b>
<b>前期繰越収支差額</b>			<b>-7,910,899</b>
<b>収入合計(B)</b>			<b>11,014,061</b>
<b>II 支出の部</b>			
<b>1 事業費</b>			
<b>①工賃 一人当たり5,000円/月</b>	<b>900,000</b>		
・IT支援関連事業			
・各種委託事業			
・その他			
<b>②就労支援事業費</b>	<b>100,000</b>		
			1,000,000
<b>2 管理費</b>			
従業員給与	<b>11,560,000</b>		
支援員2人分		6,900,000	
支援員2人分 事業所負担保険料		1,060,000	
支援員1人分(SAN職員充当分)		3,600,000	11,560,000
事業所賃貸料	<b>606,600</b>		
通信費	<b>50,000</b>		
消耗品費	<b>50,000</b>		
交通費	<b>100,000</b>		
PCリース	<b>100,000</b>		
備品費	<b>100,000</b>		
保険料	<b>174,300</b>		1,180,900
<b>当期支出合計(C)</b>			<b>13,740,900</b>
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>			<b>5,184,060</b>
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>			<b>-2,726,839</b>